

～より良い農場学習を目指して～

今年度は春から好天に恵まれ、農場での学習や農作物の生育も順調に進んでいます。現在、本校の農場では秋に収穫する野菜の管理、パンジーや葉ボタンの育苗や切り花類の定植、リンゴの仕上げ摘果やみなさんに大人気の「シャインマスカット」や「ピオーネ」の管理を行っています。

さて、昨年度から発行しているこの系列通信は、日頃の農場学習の様子を知ってもらいたいと思い、発行しています。今年度は昨年度より多く発行できるように編集を頑張りますので、ぜひご覧ください。

また、よりよい農場学習を目指して、担当の先生方もさまざまな事に取り組んでいますので、その様子もお伝えしてきたいと思います。

～教科主任の一言 菊地拓己先生より～

『農業は面白い！』

今年度農業科目を選択している生徒は、2年次19名、3年次16名の計35名です。授業を受けての感想はどうか？一人一人感じることは違うと思いますが、基本的には楽しく授業を受けているのではないのでしょうか。花や果樹の成長を見て感動し、食品製造実習でいろいろなものを作り、バイテク技術を身につけ、みなさんは確実に成長しています。そして、農業をやっていると心が優しくなります。思いやりが出てきます。そんな「農業」を学んでいるみなさんは幸せです。その幸せを感じながら、今後の学習に励んでくれることを期待します。

果樹園芸系列の授業の様子

リンゴジャム製造

アグリロボ田植機 実演会

グルテン抽出実験

ガーデン用看板製作

## ～農業クラブ活動について～

農業クラブとは、全国で農業を学ぶ生徒が加入する組織で、クラブ員が助け合い、互いに向上し、充実した学校生活を送るために、農業学習の一環としてとり入れられています

活動の目的は、将来、農業や農業に関連した職業を担う者として、社会に貢献し、活動できるための力を育て、「科学性」「社会性」「指導性」の三つの目標を掲げています。

活動の内容は、日頃の農業学習で取り組んでいる調査・研究について発表する「プロジェクト発表会」、農業に関する課題や将来の問題について意見をまとめ発表する「意見発表会」などがあります。

## ～活動報告～

### 【意見発表会】

6月19日に県立上山明新館高校で行われた意見発表会に、本校の代表として、3年次の渡辺新太さんが分野Ⅰ類(生産・流通・経営に関すること)に出場しました。「米に対する私の思い～食べる人を幸せにしたい～」と題して、稲作経営に関する考えや思いを発表しました。強豪が集まる分野でしたが、審査の結果、「優秀賞」に入賞することができました。おめでとうございます。

### 【プロジェクト発表会】

7月9日に山形テルサで行われたプロジェクト発表会に、3年課題研究「草花班」の3名が発表者として、本校の農業クラブ役員・事務局員4名が運営スタッフとして参加してました。

発表では分野Ⅲ類(園芸作物や社会動物、地域資源の活用、地域振興に関すること)に出場し、意見発表会同様、強豪が集まる分野でしたが、これまでの学習の成果を堂々と発表してくれました。入賞はできませんでしたが、運営スタッフとして参加した生徒の皆さんも他校の生徒と協力しながら、円滑な運営をしてくれました。

### 【夏期研修会】

8月2日に県立置賜農業高校で行われた夏期研修会に、3年次生徒が参加しました。県内で農業を学ぶ生徒が集まり、各学校での活動報告と課題について、意見交換や Google サイトを使ったホームページ作成の演習に取り組みました。

特に、置賜農業高校ならではの体験実習もあり「ポニーとウサギのふれあい」や「学校で搾乳した牛乳を使ったソフトクリームの試食」では、グループごとに笑顔もあふれ、有意義な時間となりました。

